

2020年度 環境経営レポート

対象範囲	群馬合金株式会社 本社(境)工場・切削加工工場
対象期間	2020年4月～2021年3月



®環境省

エコアクション21

認証番号0001280

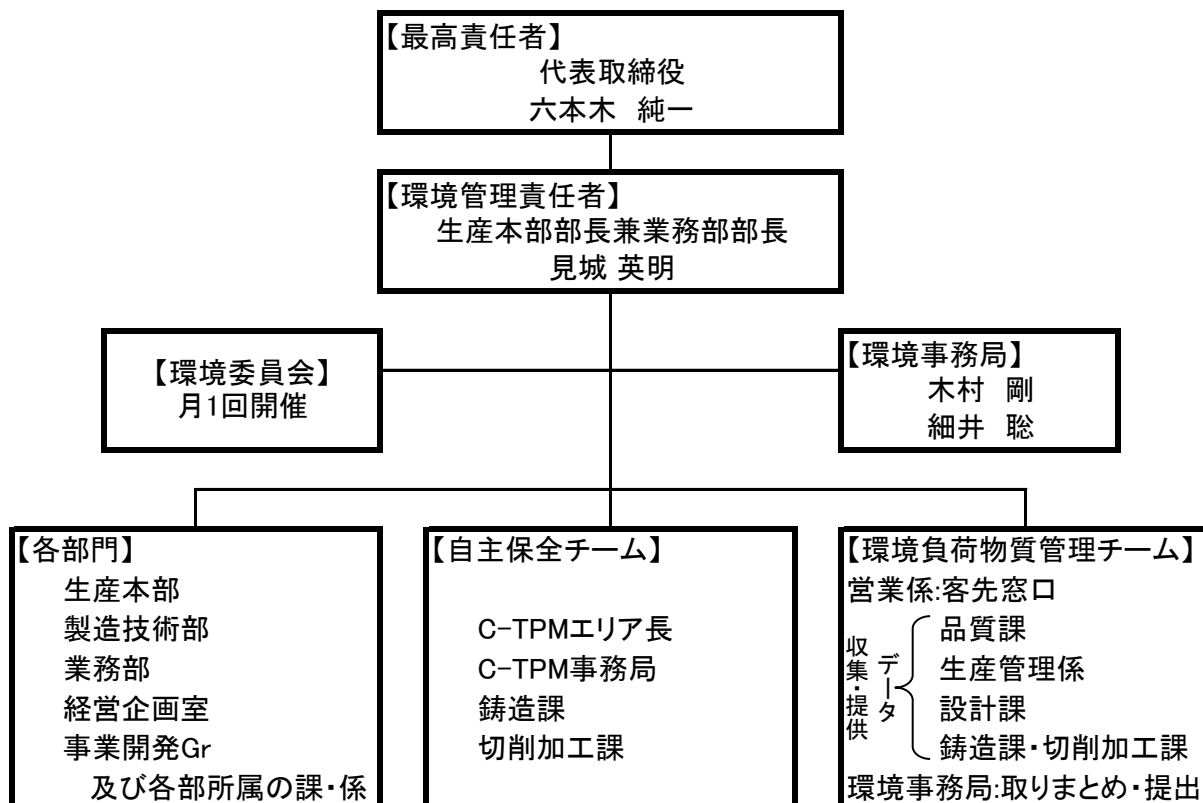


群馬合金株式会社

組織の概要

事業者名	群馬合金株式会社	
代表者	代表取締役 六本木 純一	
E-Mail	info@gkg-gr.com	
URL	http://www.gkg-gr.com	
資本金	5,000万円	
創業	1947年3月28日	
設立	1955年1月4日	
事業所	本社(境)工場	切削加工工場
所在地	〒370-0101 群馬県伊勢崎市東新井1048-19	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1835-1
電話番号	0270-76-3501	0270-75-3604
FAX	0270-76-2582	0270-75-3605
従業員	99名	28名
敷地面積	13327.69㎡	4389.78㎡
建物面積	6182.90㎡	2548.122㎡
事業概要	非鉄金属ダイカスト製造業	非鉄金属ダイカスト製品の切削加工
材料溶解量	5,668.4t	-
製品加工数	-	1,820.6千個
主要製品	車両部品・産業機器部品・情報機器部品	
主要取引先 (順不同)	NSKステアリングシステムズ株式会社及び関係会社 株式会社山田製作所 株式会社ミツバ 澤藤電機株式会社 他数社	
環境管理 責任者	見城 英明(生産本部部長兼業務部部長)	
環境事務局	木村 剛(業務部総務課課長)	
	細井 聡(業務部総務課)	
関連会社	株式会社エヌ・シー・ロード Gunma Gohkin Philippines Corporation Creative Diecast Philippines Corporation	

エコアクション21推進組織図



職名	役割
【最高責任者】	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者をはじめとする必要な責任者を任命する。任命した責任者に責任と権限を明示する。 エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 環境方針を制定する。必要に応じて改訂する。 エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
【環境管理責任者】	<ul style="list-style-type: none"> エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目標を達成するために環境委員会を運営する。 エコアクション21の構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
【環境委員会】	<ul style="list-style-type: none"> 最高責任者・環境管理責任者・事務局・安全衛生委員で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。 環境目標・環境活動計画を策定し、進捗管理について協議する。 各チームの活動状況を確認し、問題があれば対応を協議する。 その他環境に関する問題が発生した場合は対応を協議する。 環境管理責任者が必要と認められた者は出席することができる。
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> 最高責任者・環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所轄する。 各部門・各チームの環境活動への支援を行う。 エコアクション21審査にメイン担当者として対応を行う。
【各部門】	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画及び環境委員会の決定事項に従い環境活動を実行する。活動結果や問題は環境委員会にフィードバックする。
【自主保全チーム】	<ul style="list-style-type: none"> 自主保全活動を通じて設備劣化・不具合による環境負荷増加を未然に防止する。
【環境負荷物質管理チーム】	<ul style="list-style-type: none"> 顧客その他社外からの環境負荷物質等の調査依頼に対応する。

環境経営方針

『世界で一番きれいで地球に優しいダイカスト工場』
を目指して、子供たちに明るい未来を継承するために
以下の環境保全活動の取り組みを致します

- 1 製造業として環境に配慮した生産工程の開発や設計に取り組み『環境配慮型製品』の生産に努めます
- 2 予防保全による設備停止ロスや品質改善による不良ロスの継続的改善によりエネルギーロスの抑制に努めます
- 3 環境関連法規制を遵守し公害防止に努め、地域社会への『調和』や『貢献』をお届けし、企業としての社会的責任を果たします
- 4 上記の各活動に対してレビューを実施し、更なる継続的改善活動に努めます

2019年4月1日
群馬合金株式会社
代表取締役 六本木 純一

環境経営目標及びその実績・評価(1)

○境工場

※二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・排水量の各目標値及び実績値は製品材料として溶解したアルミニウム合金1t当たりの数値

※二酸化炭素の排出係数は環境省公表の2017年度の東京電力調整後排出係数(0.462kg/kWh)による

項目	区分	2018年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素 排出量削減	目標(対18年度比)	—	2%削減	3%削減
	目標値(kg/t)	—	456.2	451.5
	実績値(kg/t)	465.5	518.5	—
	判定	—	×	—
	総量(kg)	3,336,645	2,939,196	—
廃棄物 排出量削減	目標(対18年度比)	—	3%削減	3%削減
	目標値(kg/t)	—	33.5	33.5
	実績値(kg/t)	34.5	34.5	—
	判定	—	×	—
	総量(kg)	263,610	277,815	—
水使用量削減	目標値(m ³ /t)	—	0.83	0.83
	実績値(m ³ /t)	0.92	0.87	—
	判定	—	×	—
	総量(m ³)	6,669	4,916	—
化学物質 使用量削減	目標	—	化学物質の 適正管理	化学物質の 適正管理
	実績	—	アセスメント体制 運用中	—
	判定	—	○	—
自らが生産・販売・提 供する製品及びサー ビスに関する項目 (本業エコ)	目標	—	C-TPM活動と環 境活動の整合・結 合	C-TPM活動と環 境活動の整合・結 合
			SDGsの社内への 浸透	SDGsの取組
	実績	—	成果あり	—
	判定	—	○	—

評価

5項目中目標達成が2項目、未達成が3項目という結果となった。

今年度は新型コロナウイルス問題により操業量が大きく減少し、そのことによる効率悪化の影響が大きく、二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量の3項目はいずれも目標未達成となった。操業量減少に伴い二酸化炭素・水は総量が減少したが、廃棄物は設備故障時に大量の非常排出が起こった為、総量が増加した(非常排出分は目標判定の実績値には算入していない。)

化学物質使用量・本業エコについては「環境経営計画の取組結果」参照。

環境経営目標及びその実績・評価(2)

○切削加工工場

※二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・排水量の各目標値及び実績値は加工数1,000個当たりの数値

※二酸化炭素の排出係数は環境省公表の2017年度の東京電力調整後排出係数(0.462kg/kWh)による

項目	区分	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素 排出量削減	目標(対19年度比)	—	1%削減	2%削減
	目標	—	325.4	322.1
	実績値(kg/t)	328.7	237.6	—
	判定	—	○	—
	総量(kg)	538,244	432,617	—
廃棄物 排出量削減	目標(対19年度比)	—	1%削減	2%削減
	目標値(kg/t)	—	40.6	40.2
	実績値(kg/t)	41.0	33.7	—
	判定	—	○	—
	総量(kg)	67,158	61,306	—
水使用量削減	目標(対19年度比)	—	1%削減	2%削減
	目標値(m ³ /t)	—	0.308	0.305
	実績値(m ³ /t)	0.311	0.294	—
	判定	—	○	—
	総量(m ³)	509	536	—
化学物質 使用量削減	目標	—	化学物質の適正 管理	化学物質の 適正管理
	実績	—	アセスメント体制 運用中	—
	判定	—	○	—
自らが生産・販売・提 供する製品及びサー ビスに関する項目 (本業エコ)	目標	—	C-TPM活動と環 境活動の整合・ 結合	C-TPM活動と環 境活動の整合・結 合
			SDGsの社内への 浸透	SDGsの取組
	実績	—	成果あり	—
	判定	—	○	—

評価

5項目全項目が目標達成という結果となった。

今年度は5月～7月は新型コロナウイルス問題の影響で加工数が減少したものの、その他の月は加工数が好調で、通年では前年度比で加工数が11%上昇した。その中で二酸化炭素排出量・廃棄物排出量は総量自体を削減することに成功し、水使用量も総量を比較的抑制できたことから、3項目とも目標達成となった。

特に二酸化炭素に関しては複数台の旧型設備を新型の省エネ型設備に入れ替えたことと、業務の効率化により時間外勤務や夜勤を抑制できたことから、前年度比で-27.7%という顕著な結果を出すことができた。

化学物質使用量・本業エコについては「環境経営計画の取組結果」参照。

環境経営計画の取組結果・評価(1)

○境工場

項目	管理項目	コメント	評価
排出量削減	リターン比率の削減	多数の不良発生対策が実施され、リターン比率が前年度比で0.7ポイント低下した。	○
	既存設備の保守強化	保守は通常通り実施。ただし、電力異常が発生していると思われる設備が複数発見された為、今後調査・対策を行う。	△
	物流車両の省エネ	効率化によりトラックの使用量が大幅減。軽油の使用量が前年比で52%も低下した。	◎
	夏場の日よけの実施	各事務所窓・エアコン室外機に今年度も実施。	○
	エアコンのフィルターの清掃	新型コロナウイルス問題対策もあり、大掃除以外にも清掃を実施した。特に食堂では毎月実施した。	◎
	エアコンの適正使用の調査・対応	概ね適正に使用されていたが、一部にルールの逸脱が見られた。	○
廃棄物削減	リターン比率の削減	二酸化炭素排出量削減の同名項目参照。	○
	分別問題への対応	環境委員会後に製造課長と環境事務局で廃棄物置場を見て対応していた時期もあったが、現場の多忙化等の影響で継続できなくなっていった。	△
	廃水処理施設の維持管理	継続中。異常排出の発生は無し。	○
水削減	リターン比率の削減	二酸化炭素排出量削減の同名項目参照。	○
	水道メーターの確認	平日はほぼ欠かさず実施。異常発見の度に関係部門に対処を依頼。結果として大量漏洩発生無し。	◎
	節水励行の呼びかけ	月頭朝礼で呼びかけ実施。	○
化学物質削減	新規購入先・購入品発生時のアセスメント	8月から運用開始。徹底状況に問題がある為、今後強化する。	○
本業エコ	C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合	環境に関する改善事例が多数実施された。	○
	SDGsの社内への浸透	主に月頭朝礼で社内に省エネ・省ゴミ・節水をお願いをする時に、SDGsと絡めて話を行った。	○

環境経営計画取組達成率: 68.9%(×:0点、△:1点、○:2点、◎:3点で評点すると31点/45点)
(参考:昨年度の達成率は66.7%)

達成率は前年度に比べ2.2ポイント上昇した。ここ数年上昇し続けており、良い傾向である。

ただし、環境経営目標の内、二酸化炭素・廃棄物・水は未達成だった。今年度は新型コロナウイルス問題に起因する操業量・効率の低下が著しく、個別の活動ではカバー不能だった。一方で活動の中で電力異常を起こしていると思われる設備が複数台発見された。この電力異常問題を解決できれば大きな省エネが見込める為、今後の対策課題とする。

化学物質に関しては8月からアセスメント体制の運用を開始した。まだ徹底状況に問題がある為、今後強化してゆく必要がある。本業エコでは一昨年度・昨年度程顕著な改善事例は無かったものの、多数の改善が実施された。SDGsに関しても月頭朝礼で話を始めた。

環境経営計画の取組結果・評価(2)

○切削加工工場

項目	管理項目	コメント	評価
排出量削減 二酸化炭素	エアロス対応の継続	配管のループ化・エアリーク修正を実施。更に三栄知(株)様に依頼しエアリーの圧力・流量・電力を測定。その測定結果と助言を元にコンプレッサの入替を検討開始。	○
	洗浄機の更新	当初の予定より遅くなったが、2月に実施。効果は今後確認。	○
	省エネの検討	上述のエアロス対応の件の他、省エネ型設備の導入・業務の効率化により大幅な省エネを達成。	◎
	省エネ励行の呼びかけ	適宜実施。大幅な省エネの達成にはこの呼びかけも効果があったと見られる。	◎
廃棄物削減 排出量	切削油漏洩対策	12月頃から実施継続中。	○
	省ゴミの検討	委員会で適宜検討。	○
	省ゴミ励行の呼びかけ	適宜実施。	○
水削減 使用量	洗浄機の更新	二酸化炭素排出量削減の同名項目参照。	○
	節水の検討	委員会で適宜検討。	○
	節水励行の呼びかけ	適宜実施。	○
化学物質 使用量削減	新規購入先・購入品発生時のアセスメント	8月から運用開始。徹底状況に問題がある為、今後強化する。	○
本業 エコ	C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合	環境に関する改善事例が実施され始めた。	○
	SDGsの社内への浸透	主に月頭朝礼で社内に省エネ・省ゴミ・節水をお願いをする時に、SDGsと絡めて話を行った。	○

環境経営計画取組達成率: 71.8% (×: 0点、△: 1点、○: 2点、◎: 3点で評点すると28点/39点)
(参考: 昨年度の達成率は60%)

達成率は前年度に比べ11.8ポイントも上昇した。環境経営目標も全項目で目標達成しており、環境活動が軌道に乗ったことが窺える。

化学物質に関しては昨年度末時点では調査に遅れが出ていたが、今年度の早い内に調査を完了し、8月からアセスメント体制の運用を開始することができた。徹底状況にまだ問題があるのは境工場と同様であり、今後強化してゆく必要がある。本業エコに関してはC-TPM活動で環境に関する改善事例が実施され始めている。SDGsについても月頭朝礼で話を始めた。

次年度の環境経営目標・環境経営計画

○境工場(※3か年計画の最終年度の為、単年度目標と中期目標が同じ)

項目	環境経営目標		活動内容
	単年度目標 2021年度	中期目標 2021年度	
二酸化炭素 排出量	2018年度比 3%削減		リターン比率の削減
			電力異常発生設備の調査と対策
			既存設備の保守強化
			エア－漏れ対策
			物流車両の省エネ
			夏場の日よけの実施
			エアコンのフィルターの清掃
			エアコンの適正使用の調査・対応
廃棄物 排出量	2018年度比 3%削減		リターン比率の削減
			分別問題への対応
			廃水処理施設の維持管理
使用水量	0.83m ³		リターン比率の削減
			水道メーターの確認
			節水励行の呼びかけ
化学物質の 削減量の質	化学物質の 適正管理		新規購入先・購入品発生時のアセスメント
エ本 コ業	C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合		C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合
	SDGsの取組		SDGsの取組

※二酸化炭素・廃棄物・水道の各目標値は製品材料のアルミニウム合金溶解量1t当たり

○切削加工工場(※3か年計画の最終年度の為、単年度目標と中期目標が同じ)

項目	環境経営目標		活動内容
	単年度目標 2021年度	中期目標 2021年度	
二酸化炭素 排出量	2019年度比 2%削減		エア－ロス対応の継続
			省エネ型設備の導入
			省エネ励行の呼びかけ
廃棄物 排出量	2019年度比 2%削減		再利用洗浄液の貯留・希釈タンクの設置
			梱包材廃棄物削減の検討・推進
			ペーパーレス化の検討・推進
			省ゴミ励行の呼びかけ
使用水量	2019年度比 2%削減		再利用洗浄液の貯留・希釈タンクの設置
			節水表示
			ペーパーレス化の検討・推進
			節水励行の呼びかけ
化学物質の 削減量の質	化学物質の 適正管理		新規購入先・購入品発生時のアセスメント
エ本 コ業	C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合		C-TPM活動と環境(エコアクション)活動の整合・結合
	SDGsの取組		SDGsの取組

※二酸化炭素・廃棄物・水道の各目標値は製品の加工数1,000個当たり

環境関連法規等の遵守状況・評価(1)

①遵守状況の確認及び評価の結果

境工場

法規制等の名称	主な規制内容			評価			
	規制名	当社規制対象	遵守状況				
大気汚染防止法	ばい煙発生施設	集中溶解炉	ばい煙測定実施 排出基準以下	遵法			
浄化槽法	浄化槽	浄化槽	11条検査実施	遵法			
騒音規制法 振動規制法	騒音特定施設 振動特定施設	ブロワー エアーコンプレッサー 全自動トリミングマシン	規制基準遵守状況 確認OK	遵法			
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律	一般廃棄物	一般可燃ごみ・段ボール等	マニフェスト・契約書・許可証等確認OK	遵法			
	産業廃棄物	金属くず・廃油・木くず・廃プラ等					
	水銀使用製品産業廃棄物	蛍光灯等					
労働安全衛生法	作業環境測定	騒音	作業環境測定実施 保護具対応 講習・資格取得継続 健康診断実施 安全衛生委員会継続	遵法			
		粉じん					
	作業主任者	プレス作業主任者					
	技能講習	クレーン 玉かけ					
消防法	少量危険物貯蔵取扱所	灯油	掲示・表示確認 設備点検実施 自衛消防訓練実施	遵法			
		消防用設備			消火栓 消火器 自動火災報知設備		
	エネルギーの使用の 合理化等に関する法律	特定事業者			当社	定期報告書・中長期 計画書提出	遵法
		第二種エネルギー管理 指定工場			工場		
群馬県の生活環境を 保全する条例	ばい煙発生施設	1号機炉・2号機炉	規制基準遵守状況 確認OK	遵法			
	騒音特定施設 振動特定施設	ダイカストマシン					
群馬県地球温暖化 防止条例	特定排出事業者	当社	温室効果ガス計画書・報告書提出	遵法			
伊勢崎市公害防止 協定	ばい煙発生施設	集中溶解炉 1号機炉・2号機炉	ばい煙測定実施 排出基準以下	遵守			
フロン類の使用の 合理化及び管理の適正 化に関する法律	第一種特定製品	エアードライヤー パッケージエアコン等	各種点検実施 行程管理票運用	遵法			

環境関連法規等の遵守状況・評価(2)

①遵守状況の確認及び評価の結果(続き)

切削加工工場

法規制等の名称	主な規制内容			評価
	規制名	当社規制対象	遵守状況	
浄化槽法	浄化槽	浄化槽	11条検査実施	遵法
騒音規制法 振動規制法	騒音特定施設 振動特定施設	エアーコンプレッサー	規制基準遵守状況確認OK	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物	一般可燃ごみ・段ボール等	マニフェスト・契約書・許可証等確認OK	遵法
	産業廃棄物	金属くず・廃油・木くず・廃プラ等		
	水銀使用製品産業廃棄物	蛍光灯等		
労働安全衛生法	健康診断	健康診断	健康診断実施	遵法
消防法	消防用設備	パッケージ型消火設備	掲示・表示確認 設備点検実施 自衛消防訓練実施	遵法
		消火器		
		自動火災報知設備		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律	特定事業者	当社	定期報告書・中長期計画書提出	遵法
群馬県地球温暖化防止条例	特定排出事業者	当社	温室効果ガス計画書・報告書提出	遵法
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第一種特定製品	エアードライヤー パッケージエアコン等	各種点検実施 行程管理票運用	遵法
土壌汚染対策法	使用廃止有害物質使用特定施設に係る工場	ジクロロメタンによる洗浄施設(廃止済)	承継届出書提出済	遵法
ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法	(低濃度)ポリ塩化ビフェニル廃棄物	コンデンサー	廃棄終了届出書・処分状況届出書提出済	遵法

②環境法規等への違反、訴訟等の有無

環境法規制への違反はありません。

環境法規制に関する訴訟等もありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者コメント

2020年度はコロナウイルス問題で過去に経験の無い1年を経験しました。操業量減に伴うエネルギー・水の使用効率の悪化や、売上減に伴う設備投資の抑制等、環境面でも厳しい面が多く、SDGsの展開も遅れました。しかし、そのような状況下にも関わらず、皆様にはしっかり活動していただきました。

さて、2021年度は二酸化炭素の排出規制が年々厳しくなっているため、どう対応するかが課題です。SDGsやカーボンニュートラルの考えを取り入れて全員が意識を高め、排出量を減らす活動をする必要があります。

一人の百歩より百人の一步です。皆様の力を合わせて目標を達成し、「世界で一番きれいで地球に優しいダイカスト工場」を目指せるようにしてゆきましょう。